



浅沼 幸雄 議員
(政和クラブ)

一問一答方式

【その他の質問】

○若者の定住対策について

今回の市長と語るろう会の目的は

問.....

今年度実施した市長と語るろう会の主な目的は何か。

答.....

平成27年度は、来年度からの第2次総合計画を策定しなければならぬ節目の年であり、それに向けて議会での議論はもちろぬ、市民の皆さんの意見も伺いながら計画に反映させていく為にも『平成27年度当初予算と健全財政5ヶ年計画につ

いて』『新エネルギービジョン』と「遠野市景観資源の保全と再生可能エネルギーの活用との調和に関する条例」について『地域コミュニティのあり方について』の3つをテーマに市長と語るろう会を実施した。



次期総合計画にも活かされる「市長と語るろう会」での意見・提言

問.....

高度経済成長時代のコミュニティと、これからの少子化・高齢化時代のコミュニティのあり方は、考え方を大きく変えなければならぬのではないかと。

答.....

地域コミュニティをどう守り維持していくのかが大きな課題であり、市民センターを中心とした地区センターのあり方も連動

これからのコミュニティはどうあるべきか

市長と語るろう会で市民の皆さんから出された市政課題を今後の政策にどのように活かしていくのか。

答.....

広報遠野のコラムにも書いたが、市民の皆さまからいただいた貴重な意見・提言を、謙虚に、素直に、そして重く受け止めて、遠野スタイルの創造・発展につなげていきたい。

旧情ビ校の跡地利活用と宮守まちなか再生事業は

問.....

旧遠野情報ビジネス校の校舎利活用策の進展状況や今後の方向性と宮守町の活性化に向け、急ぎよ発表されたmm1の公有化を含む「宮守まちなか再生事業」の内容は。

答.....

遠野高校情報ビジネス校は、昭和23年5月「県立遠野第一高等学校校定時制分校」として発足し、全日制移行や

学科・校名変更などを経て、村民一丸で独立校への昇格実現に向けて努力してきたが、生徒の減少により平成22年3月で閉校となった。

閉校直後から市役所内の若手職員による検討などを設置して新たな活用策を議論し、5つの案に絞り込んだ中で、交通事故者矯正施設の誘致を模索したが、社会的ニーズの低下により断念し、ほかの活用案について引き

続き検討している。平成25年度からの町づくり再生プロジェクトで、宮守町においては「mm1・道の駅整備」を含む7つの事業を掲げて計画を進めている。

合併から10年、活性化の第2ステージとして、公有化を図るmm1や道の駅を「(仮称)宮守中心市街地活性化センター」として一体的に整備し、子育て支援住宅整備、保育所・幼稚園整備、市道整備

駅前整備をそれぞれ点から線で結び、さらには情報ビジネス校跡地利活用、総合支所周辺エリアの再構築へと面の整備につなげていきたい。



瀧本 孝一 議員
(市民クラブ)

一括質問方式

高原の魅力を生かした観光地づくりの取組を

問.....

市内には景観や展望に恵まれている高原や牧場が多い。文化や地形の特性を生かし、旧村時代に開催していた「寺沢高原まつり」のようなイベントなどで魅力を発信するとともに、ネットワーキングで誘客を図る観光地づくりの考えは。

答.....

代表的なものに、荒



(仮称)宮守中心市街地活性化センターとして公有化が図られるショッピングタウンmm1

川・貞任・高清水・寺沢の各高原が挙げられ、それぞれ素晴らしい特徴を持っており、馬文化の景観地として国選定重要文化的景観に選定されている高原や、360度大パノラマの眺望可能な高原もある。これらの相互の連携を図り、高原が持っている魅力を発信することにより、新たな観光地の創出につながるものと考ええる。